

旭化成株式会社 個人投資家様向け会社説明

2026年1月11日
旭化成株式会社（東証プライム 証券コード（3407））

AsahiKASEI
Creating for Tomorrow

将来性と安定感を両立する投資先をお探しの皆様へ

旭化成は、次のような期待をお持ちの個人投資家の皆さまにお応えします

- “いのち”と“暮らし”に貢献する企業に投資したい
- 優れた技術と人財による変革を応援したい
- 長期で保有し、安定的な配当に期待したい



“いのち”と“暮らし”を支える旭化成グループの製品



旭化成といえば...？



サランラップ®



ジップロック



柔道



ヘーベルハウス



実業団駅伝



技術

本日の内容

- 01** 会社概要
- 02** 旭化成の強み
- 03** 旭化成の成長戦略
- 04** 資本配分と株主還元
- 05** サステナビリティ

本日の内容

- 01** 会社概要
- 02 旭化成の強み
- 03 旭化成の成長戦略
- 04 資本配分と株主還元
- 05 サステナビリティ

会社概要

商号	旭化成株式会社
創業	1922年5月25日
本社	東京都千代田区
資本金	103,389百万円
従業員数	50,352名（連結） ※2025年3月末時点



旭化成のグループミッション

「世界の人びとの“いのち”と“くらし”に貢献します」

旭化成の歴史：社会課題に応じ事業を入れ替え成長

1922年～

1960年代～

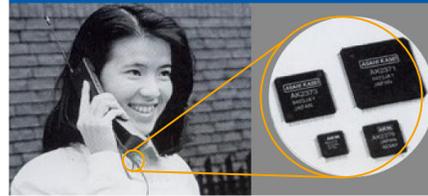
1980年代～

2000年代～

2020年代～

社会課題

農業や重化学工業の発展

高度成長期における
社会資本の整備情報社会の到来による
電子機器の普及環境問題の深刻化や
先進国の高齢化SDGs実現に向けた
社会の変革当社の
方向性「衣」「食」を支える
事業から
生活の安定に貢献石油化学、住宅、
ヘルスケア、
エレクトロニクス分野へ
展開リチウムイオン電池など、
情報機器のキーパーツを
供給M&Aを通じ、
住宅やヘルスケアの
グローバル展開を加速世界的課題の解決に
資する技術・事業を通じ、
持続可能な社会を
目指す主な事業
創出例

- ▶ アンモニア
- ▶ 化学繊維
- ▶ 合成繊維
- ▶ 樹脂

- ▶ 消費財
- ▶ 石化事業
- ▶ 戸建住宅
- ▶ 医療用医薬品

- ▶ 電子部品
- ▶ リチウムイオン電池
用セパレータ
- ▶ 集合住宅

- ▶ 自動車内装材
- ▶ クリティカルケア

- ▶ 水素製造システム
(実証中)
- ▶ 海外住宅
- ▶ 海外医薬

本日の内容

- 01 会社概要
- 02 旭化成の強み**
- 03 旭化成の成長戦略
- 04 資本配分と株主還元
- 05 サステナビリティ

旭化成の強み：時代ごとに変化しながら安定成長を実現する力

時代や社会の要請に応じ
事業を入れ替える

**事業ポートフォリオ
変革力**

高付加価値事業を
可能にする

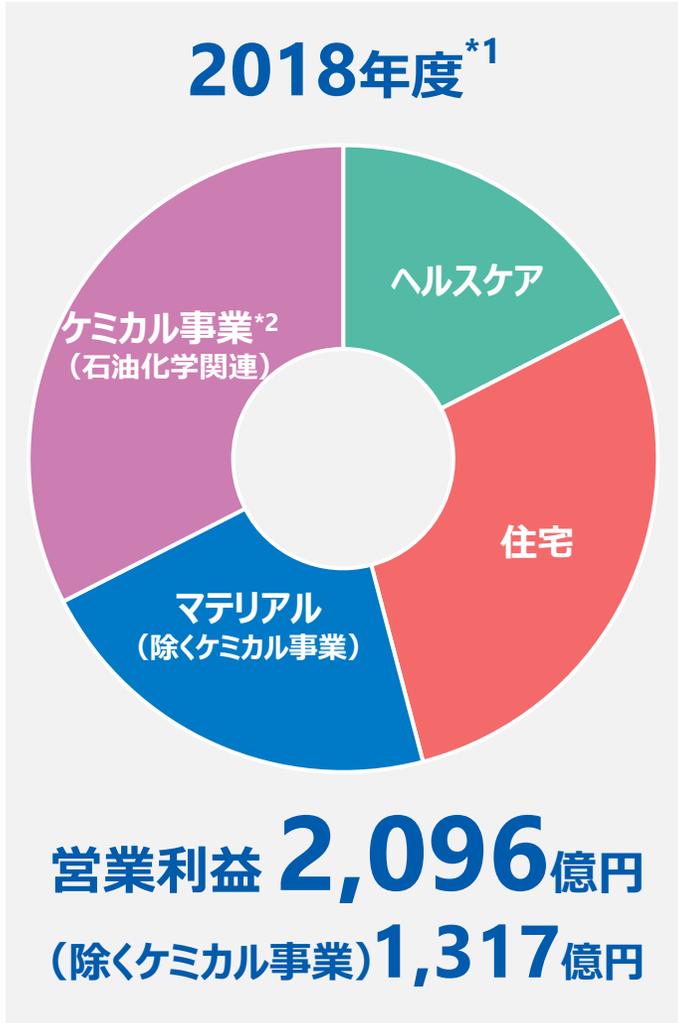
**豊富な
「無形資産」**

安定した収益による

**強固な
財務基盤**

旭化成の強み：事業ポートフォリオ変革力

時代や社会の要請に応じ 事業を入れ替える 事業ポートフォリオ 変革力	高付加価値事業を 可能にする 豊富な 「無形資産」	安定した収益による 強固な 財務基盤
---------------------------------------------	------------------------------------	--------------------------



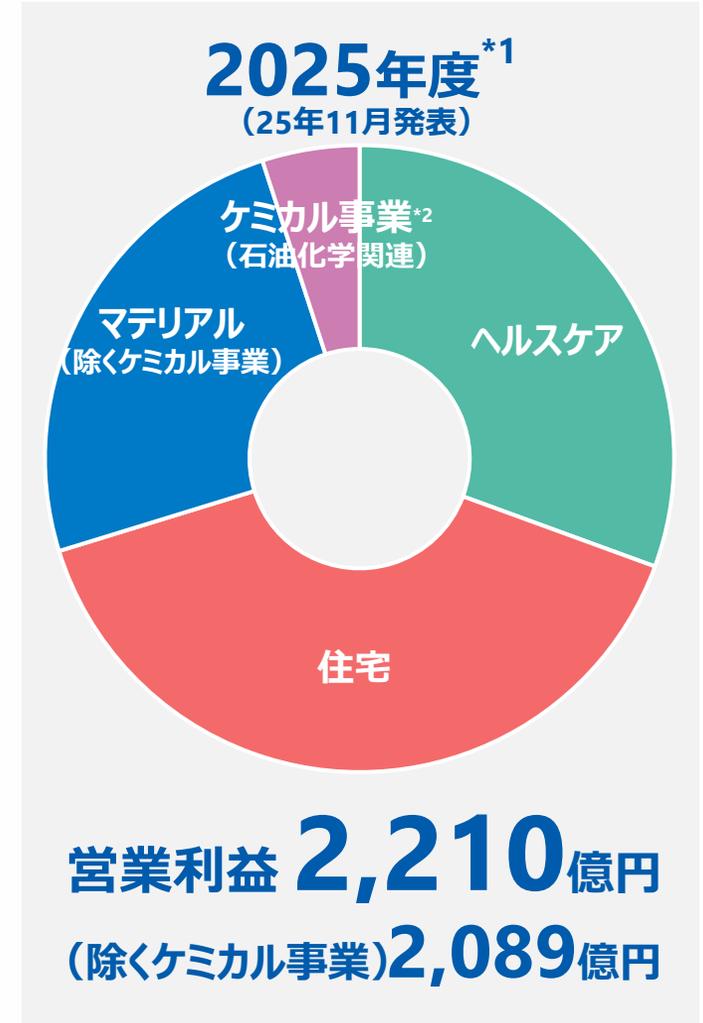
M&A 7,000億円以上

例) ヘルスケア：
新たな成長の柱として
米国市場の医薬企業を買収

calliditas
THERAPEUTICS

設備投資 (拡大関連) 5,000億円以上

例) マテリアル：
旺盛な最先端半導体需要に
対応し、
半導体保護膜/
層間絶縁膜「パイメル」の
増産を決定



*1 上記グラフはグループ全体から「その他」「消去又は全社」を除いた数値における構成比を示している

*2 現在のパフォーマンスケミカルとエッセンシャルケミカルに含まれる事業の利益の合計値



サララップ



イオン交換膜



オーディオ用LSI



リチウムイオン電池用 セパレータ



断熱材



自動車内装材 Dinamica

技術に裏付けされた製品群 ニッチ分野で高い市場シェア



ヘーベルハウス



Hollow Filament

再生セルロース繊維 ベンベルグ



骨粗しょう症治療剤 テリボン



ウイルス除去フィルター プラノバ



着用型自動除細動器 LifeVest



医療機関向け除細動器・AED

コア技術

人財

ブランド

ノウハウ

豊富な人財や知財などの「無形資産」によるイノベーション

信頼

マーケティング
チャンネル

データ

知財

リチウムイオン電池用 セパレータ

オーディオ用LSI

イオン交換膜

サララップ

断熱材

ヘーベルハウス

自動車内装材 Dinamica

着用型自動除細動器 LifeVest

ウイルス除去フィルター プラノバ

骨粗しょう症治療剤 テリボン

再生セルロース繊維 ベンベルグ

医療機関向け除細動器・AED

Hollow Filament



時代や社会の要請に応じ 事業を入れ替える 事業ポートフォリオ 変革力	高付加価値事業を 可能にする 豊富な 「無形資産」	安定した収益による 強固な 財務基盤
---------------------------------------------	------------------------------------	--------------------------

旭化成の「技術」「人財」

研究・開発 数々の社外表彰

ノーベル化学賞 (2019)
スウェーデン王立科学アカデミー



リチウムイオン二次電池の開発
(当社名誉フェロー 吉野彰)

文化勲章 (2019)
日本国

**令和7年度全国発明表彰
「恩賜発明賞」 (2025)**
日本国

ニッケルを用いた電極長寿命化
技術の発明

**令和6年度全国発明表彰
「経済産業大臣賞」 (2024)**
日本国

半導体パッケージの高密度化を
実現する絶縁膜用組成物の
発明

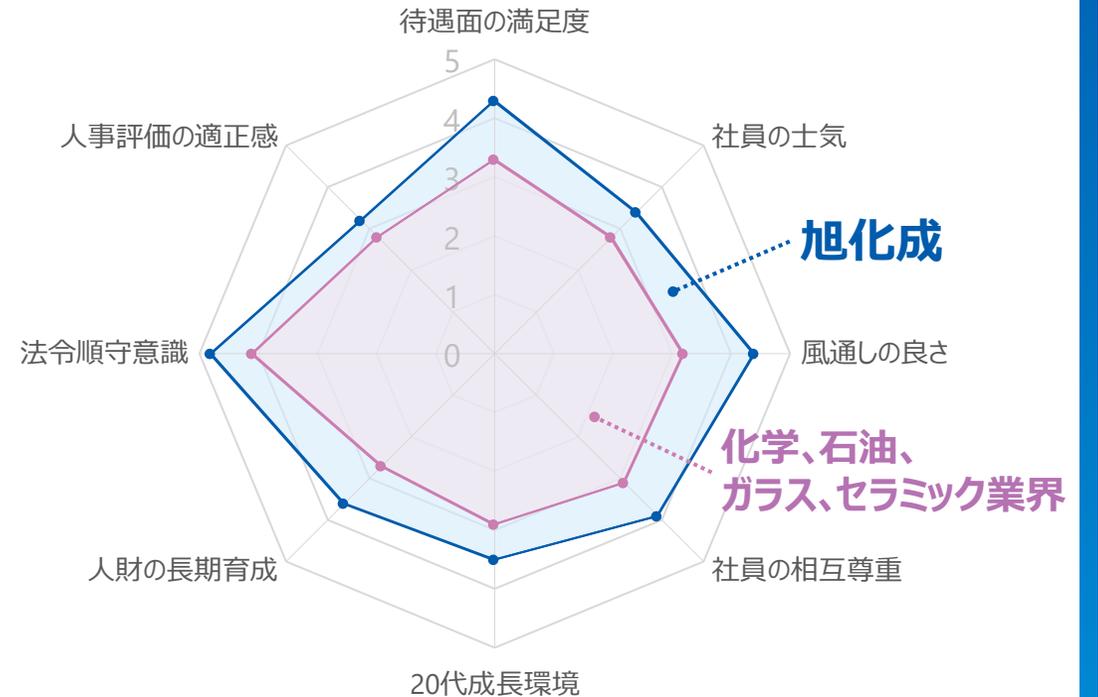
紫綬褒章 (2020)
日本国

ナイロン原料用シクロヘキセン
製造技術の開発

働きやすく、風通しのよい社風

社員クチコミサイト「OpenWork」

2025年 総合評価ランキング* **3位 / 2,294社**
(化学、石油、ガラス、セラミック業界)



時代や社会の要請に応じ
事業を入れ替える
事業ポートフォリオ
変革力

高付加価値事業を
可能にする
豊富な
「無形資産」

安定した収益による
強固な
財務基盤

旭化成の「ブランド」

ヘーベルハウス



hebel

HEBEL HAUS

3階建や二世帯住宅
など、都市型住宅の
パイオニア

ベンベルグ



90年以上続く事業
スーツの裏地から
民族衣装まで、
世界中で愛される素材

AED・除細動器



グローバルで
4割程度のシェア
当社の主要市場の
米国ではトップクラス

サランラップ



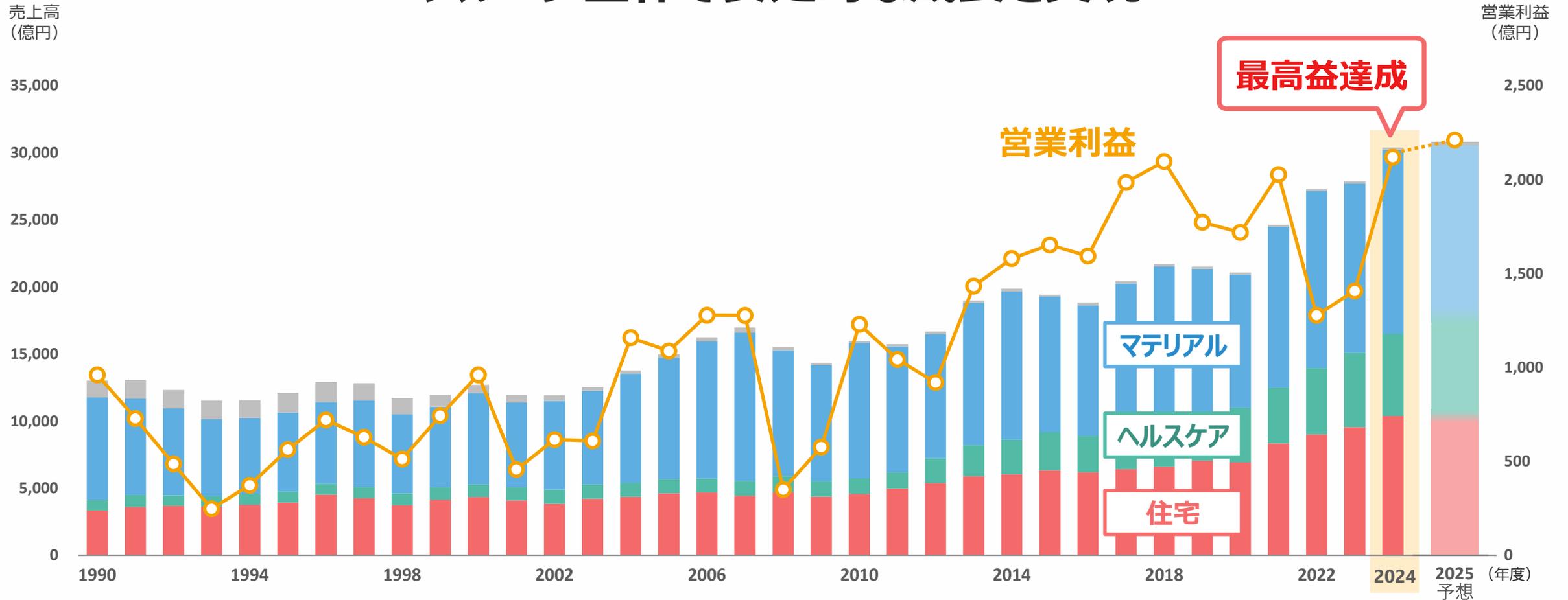
60年以上のロングセラー
生活の必需品として、
愛され続ける消費財
食品用ラップ売上No.1

※ (株) インターゲージSRI+ラッピングフィルム市場
2024年1月~2024年12月 累計販売金額

売上高と営業利益の推移

時代や社会の要請に応じ 事業を入れ替える 事業ポートフォリオ 変革力	高付加価値事業を 可能にする 豊富な 「無形資産」	安定した収益による 強固な 財務基礎
---------------------------------------------	------------------------------------	--------------------------

事業ポートフォリオを入れ替えながら、
グループ全体で安定的な成長を実現

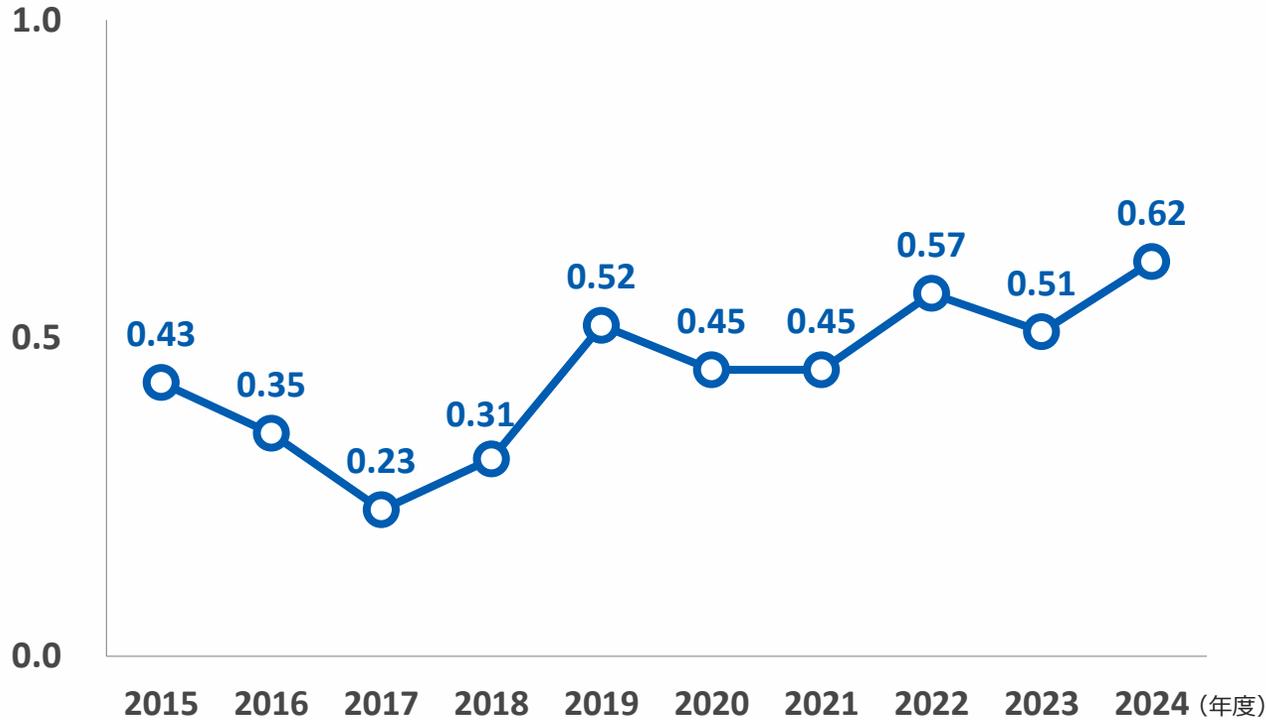


時代や社会の要請に応じ 事業を入れ替える 事業ポートフォリオ 変革力	高付加価値事業を 可能にする 豊富な 「無形資産」	安定した収益による 強固な 財務基礎
---------------------------------------------	------------------------------------	--------------------------

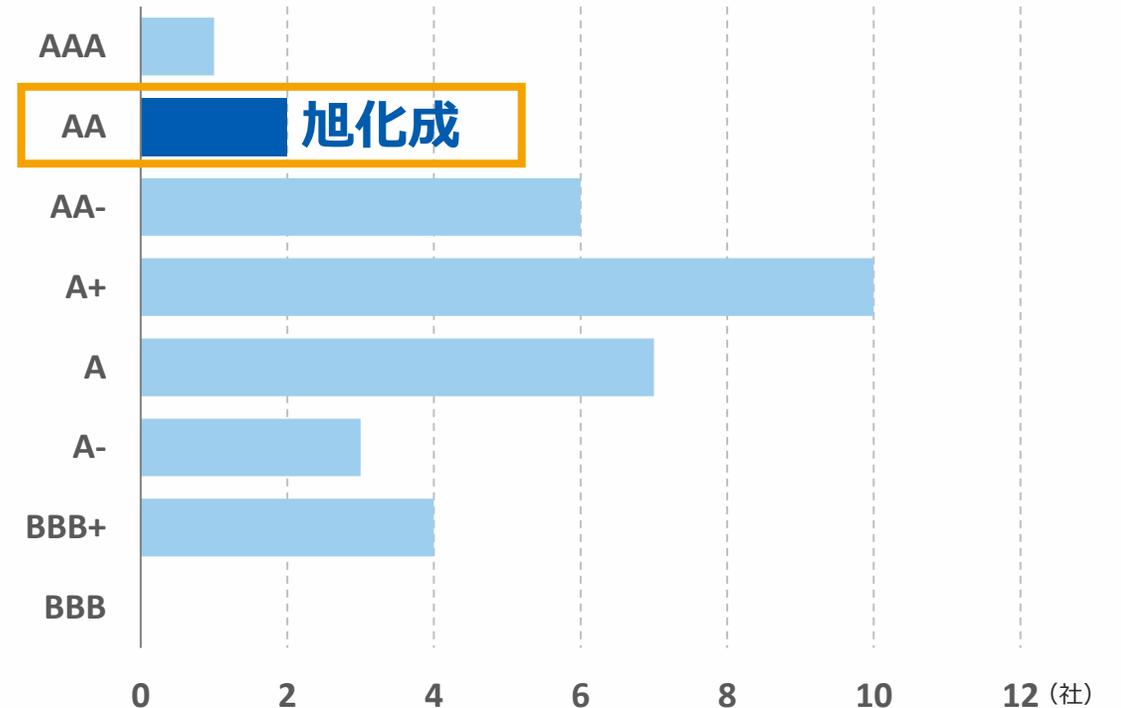
財務体質と格付

積極的なM&Aや投資を行いながらも、D/Eレシオは0.5倍程度を維持
強い財務体質を堅持し、高い格付を取得

D/Eレシオ (=有利子負債÷自己資本)



格付



(株) 日本格付研究所による化学企業の格付 (2025/12月時点)

本日の内容

- 01 会社概要
- 02 旭化成の強み
- 03 旭化成の成長戦略**
- 04 資本配分と株主還元
- 05 サステナビリティ

中期経営計画の目標

中期経営計画
2024
Be a Trailblazer

中期経営計画
2027
Trailblaze
Together

長期展望
2030年

営業利益 : **2,119**億円
ROE : **7.4%**
ROIC : **5.5%**

営業利益 : **2,700**億円
ROE : **9.0%**
ROIC : **6.0%**

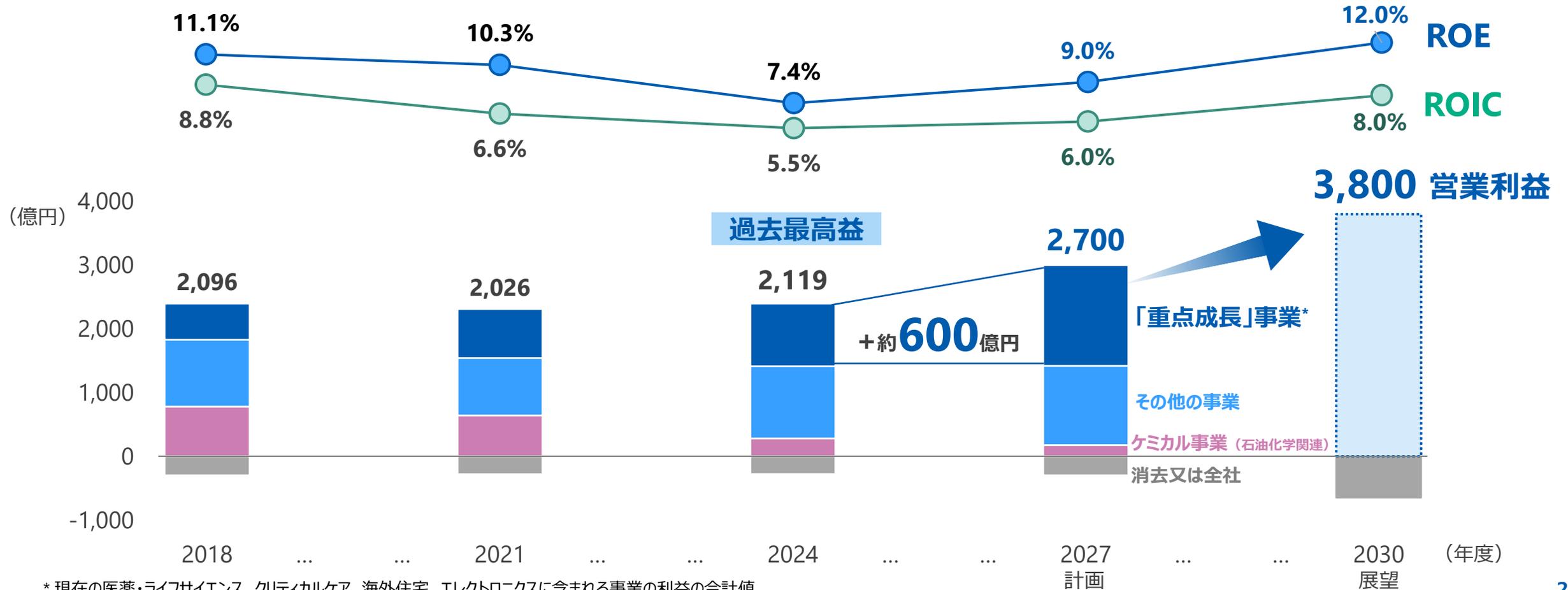
営業利益 : **3,800**億円
ROE : **12.0%**
ROIC : **8.0%**

主な経営指標の推移および計画

今後は「重点成長」事業の成長によって利益成長フェーズへ

ケミカル事業は市況悪化の影響を受けたが、全社の営業利益は概ね維持

4つの「重点成長」事業を中心に着実な利益成長を見込む



事業ポートフォリオ（各事業の位置づけ）

「重点成長」事業が利益成長のドライバー

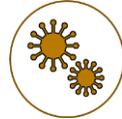
	ヘルスケア	住宅	マテリアル
重点成長 <ul style="list-style-type: none"> ● 過去投資からの利益創出 ● 非連続成長も含めた積極投資 	 医薬  クリティカルケア	 海外住宅	 エレクトロニクス
戦略的育成 <ul style="list-style-type: none"> ● 将来の成長ドライバー ● 競争力強化の観点での提携戦略推進 	 ライフサイエンス	 不動産開発	 エネルギー&インフラ
収益基盤維持・拡大 <ul style="list-style-type: none"> ● 安定収益創出 ● 拡大機会は資本効率を強く意識した上で判断 		 建築請負、リフォーム 賃貸管理・不動産流通	 カーインテリア
 収益改善・事業モデル転換 <ul style="list-style-type: none"> ● 収益/資本効率低迷する事業の構造転換 ● 無形資産を活用した新しい事業モデルへのシフト 		 建材	 コンフォートライフ
			 パフォーマンスケミカル  エッセンシャルケミカル

医薬事業

ニッチな疾患領域に注力し、米国を中心に海外で成長を目指す

ニッチな疾患領域

自己免疫疾患



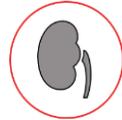
ケブザラ、プラケニル、
ブレディニン

移植領域



Envarsus XR

腎臓疾患



Tarpeyo、ブレディニン

重症感染症



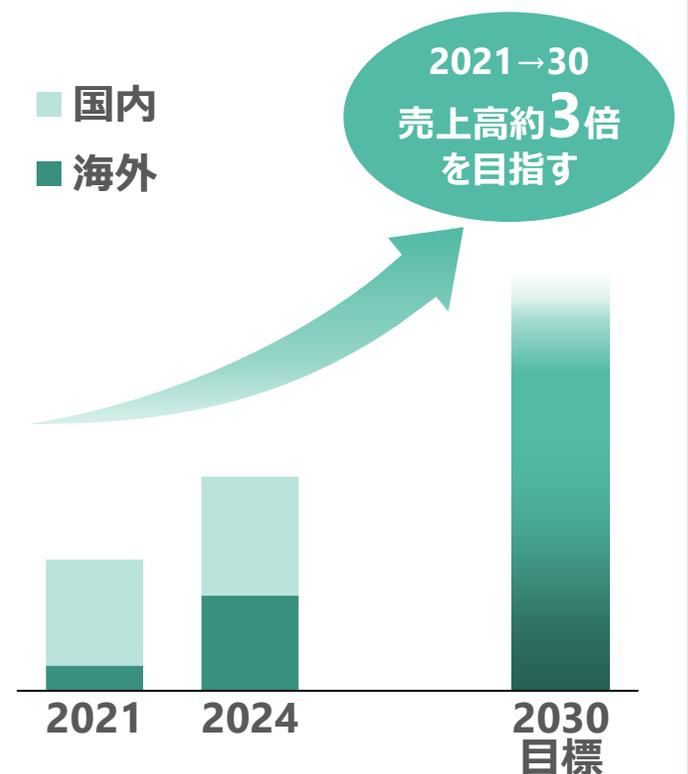
クレセンバ、リコモジュリン

グローバル経営体制で事業拡大



- 北米市場での成長
- 追加M&A・ライセンス導入
- グローバル経営体制の強化

売上高推移・目標



クリティカルケア事業（医療機器事業）

米国を中心に重篤な心肺関連疾患領域でのさらなる成長の追求

革新的な医療機器
世界の潜在市場を開拓



着用型自動除細動器
「LifeVest」



睡眠時無呼吸症
在宅検査・診断ソリューション

心肺蘇生関連機器など
市場リーダーとしての
堅実な成長と収益貢献

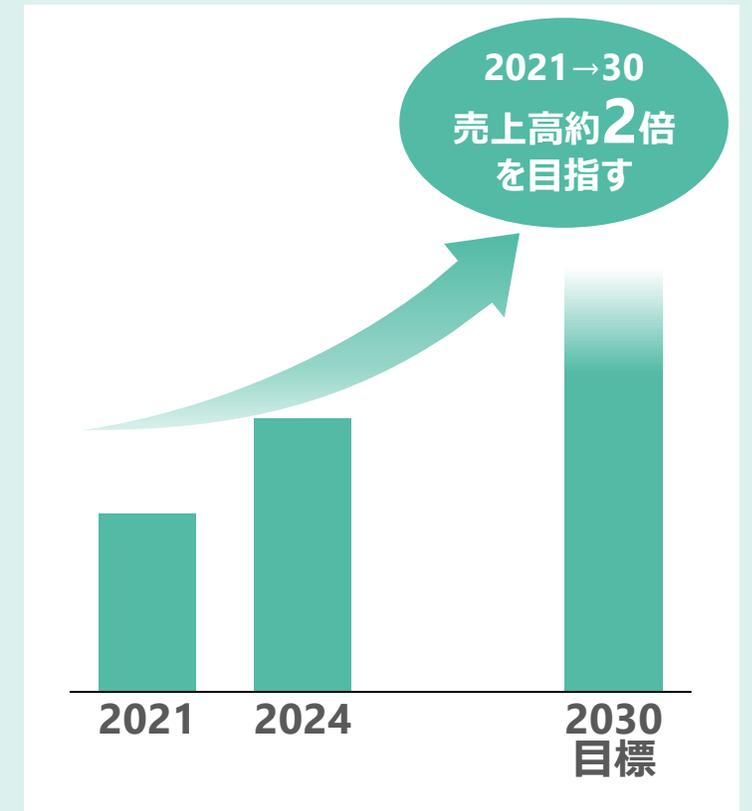


医療機関用
除細動器



AED

売上高推移・目標



海外住宅事業

日本のヘーベルハウスで培ったノウハウを生かし、
現地に合わせた快適な暮らしを提供

北米事業：買収した複数の建築工事業者を統合し、工事を効率化



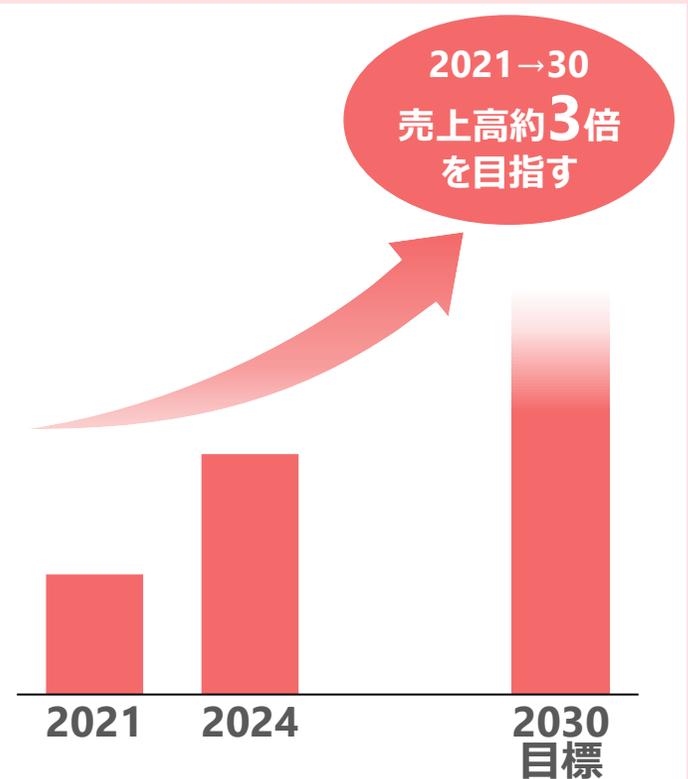
豪州事業：中高級住宅市場で強み、今後もシェアを拡大



豪州着工件数シェア
3位 (2,596棟)

2024年～2025年 (出典：HIA Economics)

売上高推移・目標



エレクトロニクス事業

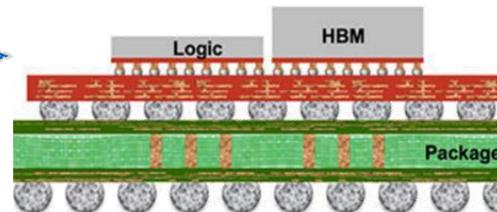
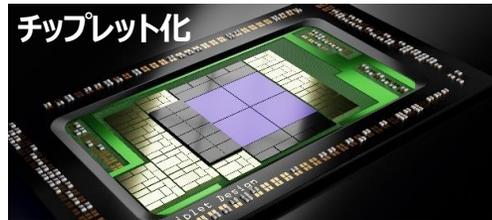
AIやスマートフォン関連用途などの最先端半導体に使われる
ニッチで特徴ある電子材料を提供

半導体前／後工程の融合で新たなバリューチェーン拡大

先端半導体パッケージ工程材料（代表的な製品）

半導体チップ
実装工程材料

「パイメル」
半導体保護膜／
層間絶縁膜



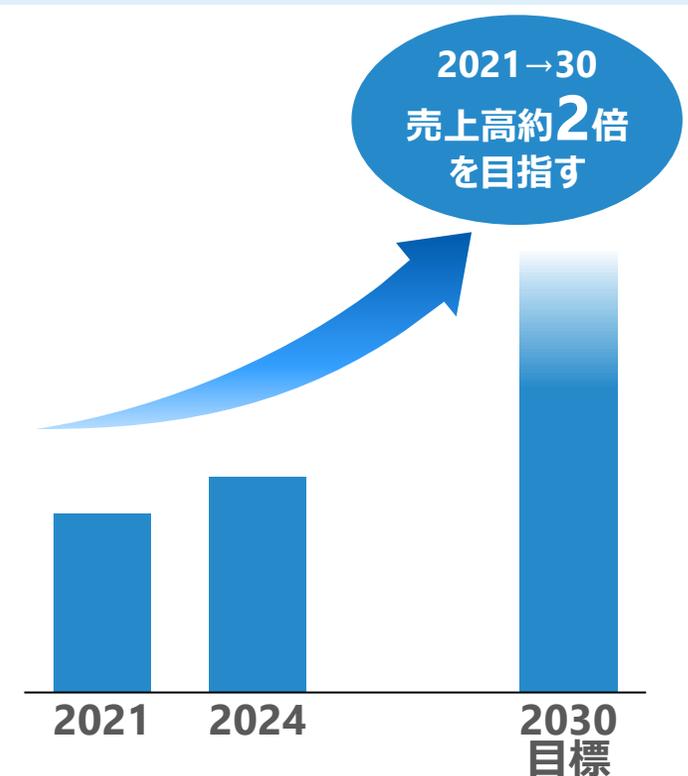
PCB
実装工程材料

ガラスクロス
基板用絶縁材

製品事例：パイメル（半導体保護膜／層間絶縁膜）

- 最先端半導体分野で高い評価
2024/2025 TSMC Excellent Performance Awardを受賞
- 旺盛な需要に合わせ新中計期間に積極的な設備増強投資を決定

売上高推移・目標

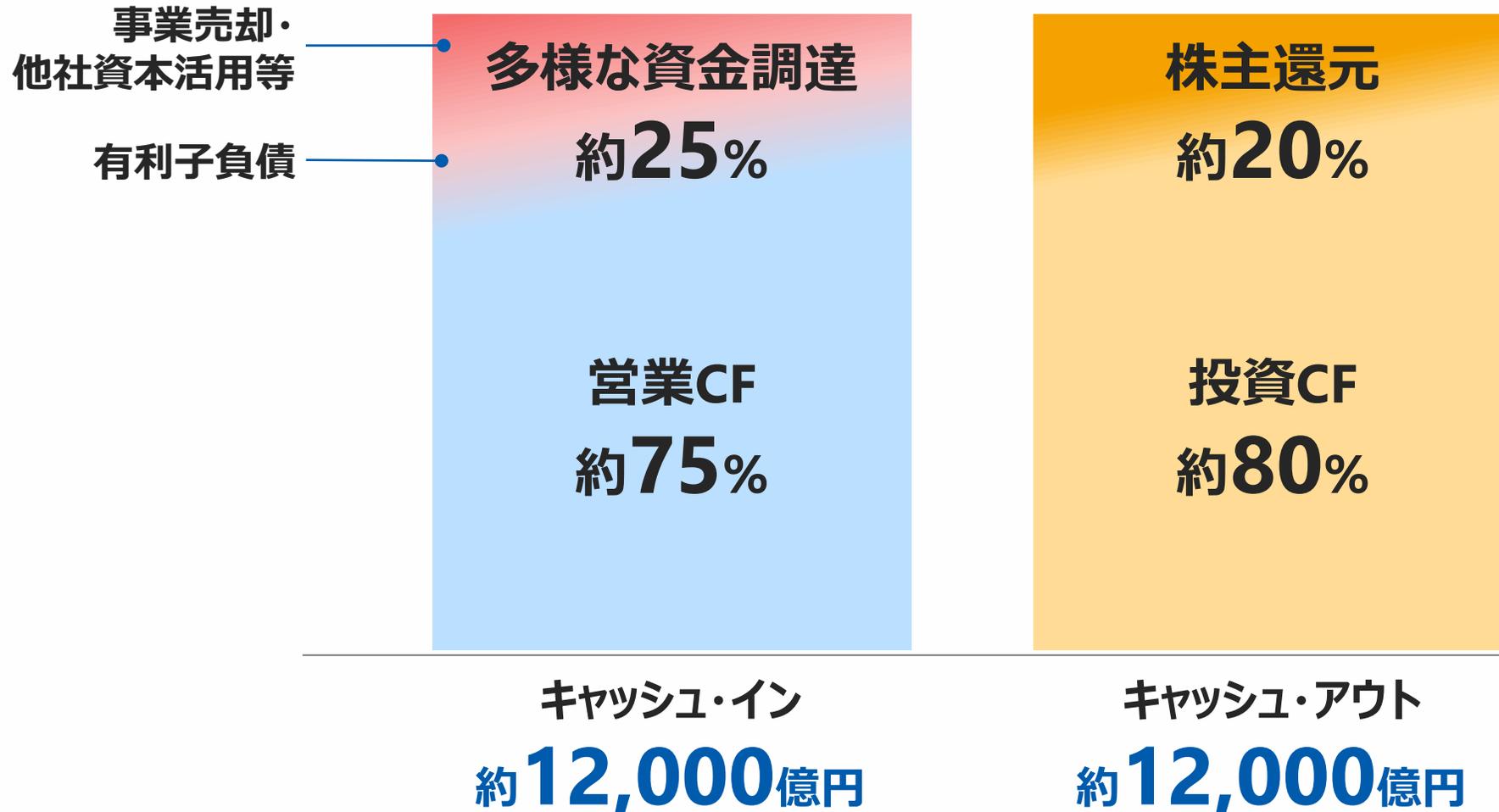


本日の内容

- 01 会社概要
- 02 旭化成の強み
- 03 旭化成の成長戦略
- 04 資本配分と株主還元**
- 05 サステナビリティ

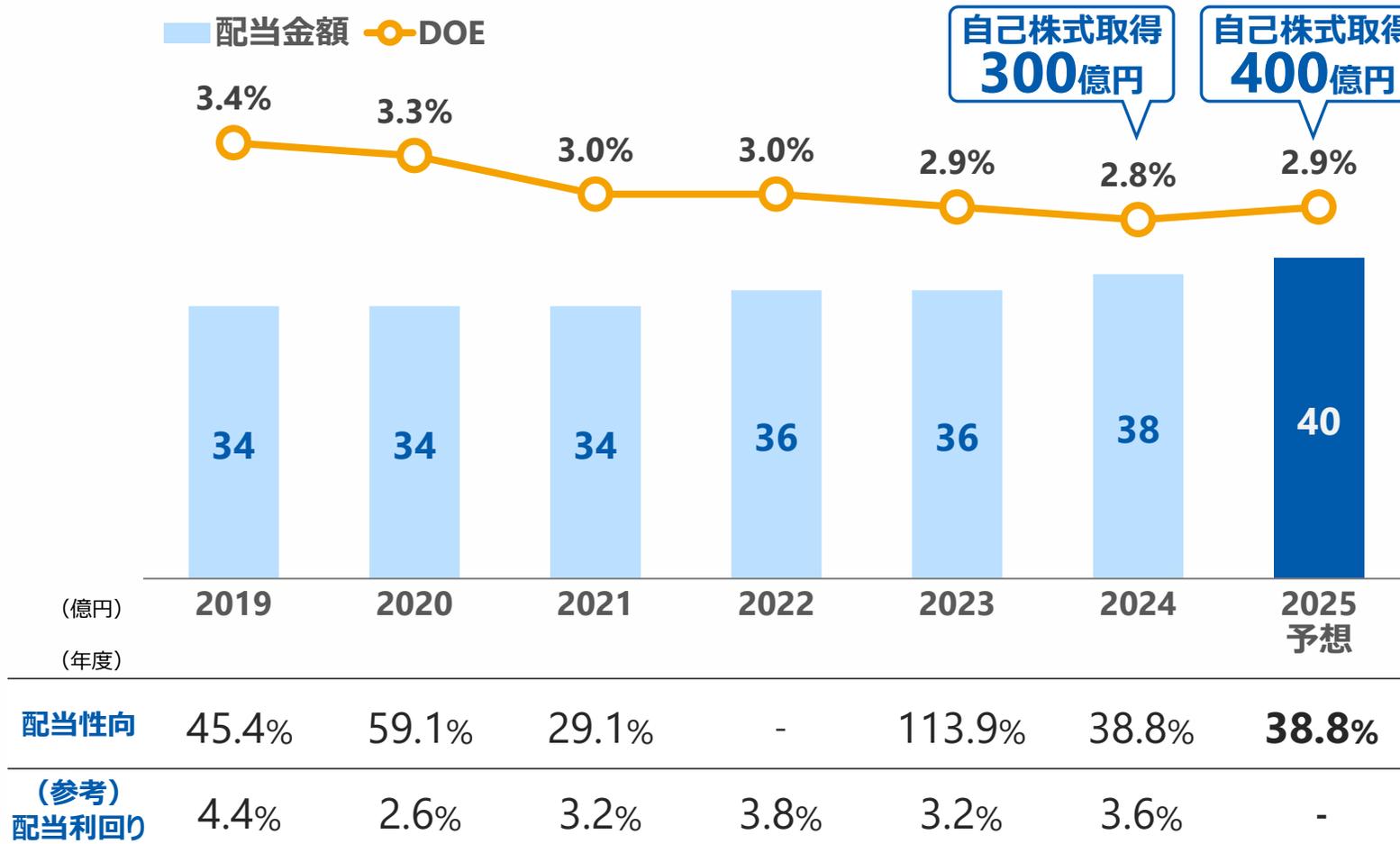
キャピタルアロケーション（2025~27年度の3年間）

成長に向けた投資と株主還元を重視



株主還元方針

累進配当を特に重視し、還元水準の継続的向上を図る



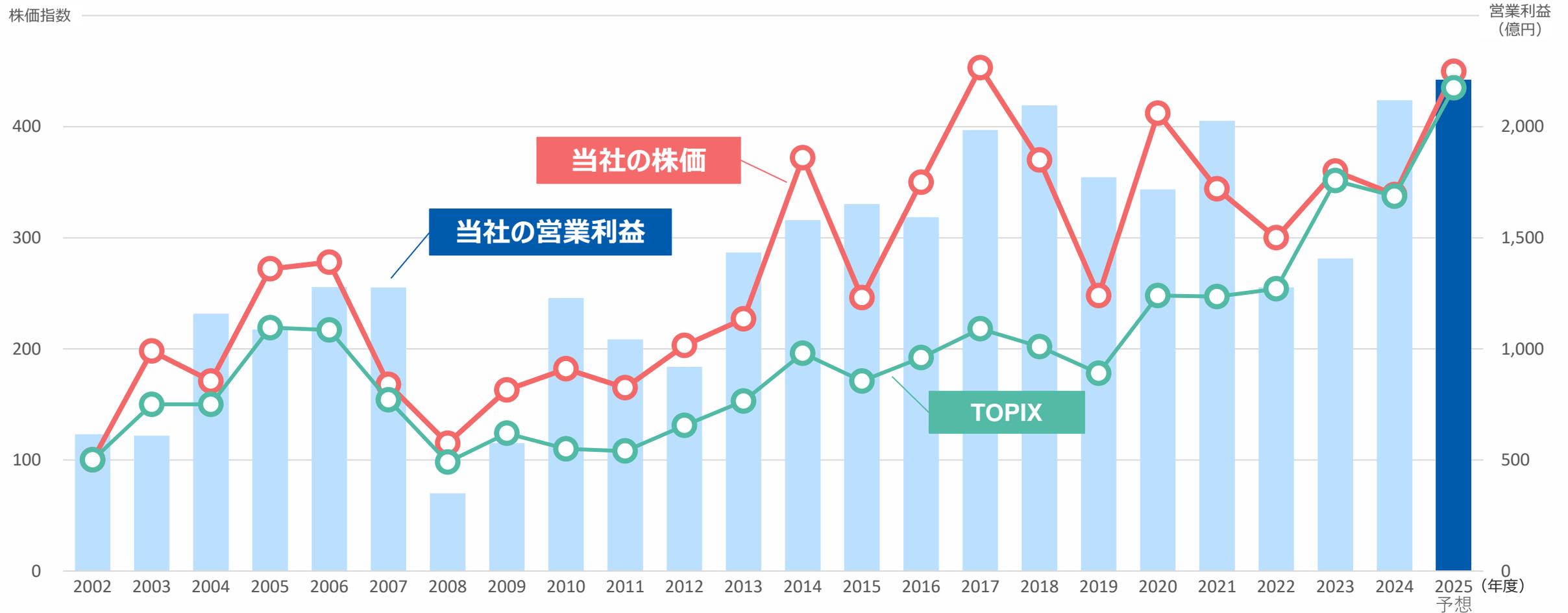
株主還元方針

- 1 中期的なFCFの見通しから、株主還元的水準を判断する
- 2 **DOE3%を目安**とした、中長期的な累進配当を目指す
- 3 自己株式取得は資本構成適正化に加え、投資案件やキャッシュフロー、株価の状況等を総合的に勘案して検討・実施する

営業利益と株価推移

利益成長に併せて株価も上昇

(2002年度を100とした株価推移)



※株価は2025年12月29日時点

本日の内容

- 01 会社概要
- 02 旭化成の強み
- 03 旭化成の成長戦略
- 04 資本配分と株主還元
- 05 サステナビリティ**

GHG（温室効果ガス）排出量削減への貢献

社会のGHG排出量削減への貢献

「**環境貢献製品**」^{*}によるGHG排出削減量を、2030年までに**2倍以上**、2035年までに**2.5倍以上**に引き上げ（2020年度比）

※「**環境貢献製品**」：ライフサイクル全体で環境改善や環境負荷の低減に貢献する製品やサービスとして社内認定したもの。**現在26の製品・技術を認定。**



代表的な環境貢献製品



戸建住宅「**ヘーベルハウス™**」
集合住宅「**ヘーベルメゾン™**」

LONGLIFE（ロングライフ）住宅とZEHによる、部材製造段階、使用段階のGHG排出量削減

ポリカーボネート製造プロセス

有害物質を使用せず、CO₂を原料の一つとして、多用途に使われるエンジニアリングプラスチックであるポリカーボネートを製造



リチウムイオン電池用セパレータ

電動自動車（EV）の普及により、走行段階のGHG排出量を削減

事業活動における当社のGHG排出量削減

2030年に2013年度比で**30%以上**、
2035年に2013年度比で**40%以上**を削減



2050年 **カーボンニュートラル実現**

社会・地域貢献

発祥の地である宮崎県延岡市をはじめ、
地域社会の皆様と共に発展を目指しています



雇用の創出



当社OBによる学業支援ボランティア



出前授業・職場訪問学習



植林活動「あさひの森」



柔道教室

社外の評価

世界的な社会的責任投資インデックスへ組み入れ

- FTSE4Good Index Series
- FTSE Blossom Japan Index
- FTSE Blossom Japan Sector Relative Index
- S&P/JPX カーボン・エフィシエント指数
- SOMPOサステナビリティ・インデックス
- MSCI Selection Indexes
- MSCIジャパンESGセレクト・リーダーズ指数
- MSCI日本株ESGセレクト・リーダーズ指数
- MSCI 日本株女性活躍指数(WIN)
- Morningstar Japan ex-REIT Gender Diversity Tilt Index (GenDi J)



FTSE Blossom Japan



FTSE4Good



FTSE Blossom Japan Sector Relative Index



2025 CONSTITUENT MSCIジャパン ESGセレクト・リーダーズ指数

2025 CONSTITUENT MSCI日本株 ESGセレクト・リーダーズ指数



2024 Sompo Sustainability Index



S&P/JPX
カーボン
エフィシエント
指数

MSCI
ESG RATINGS



CCC B BB BBB A AA AAA

2025年MSCI ESG
レーティングにおいて
「AA」を獲得

国内でも高い評価

- 「IR優良企業賞」を受賞
- 『第4回日経統合報告書アワード』準グランプリを受賞
- (株)日本政策投資銀行の「DBJ環境格付」融資で最高ランクの格付を取得
- 「DX銘柄2025」に選定
- 「健康経営優良法人2025（大規模法人部門）ホワイト500」に認定



優良企業賞

Member of
Japan Investor Relations Association



DBJ 環境格付

2024



DX銘柄2025
Digital Transformation



2025
健康経営優良法人
KENKO Investment for Health
大規模法人部門
ホワイト500

A03407

将来性と安定感を両立する投資先をお探しの皆様へ

旭化成は、次のような期待をお持ちの個人投資家の皆さまにお応えします

- “いのち”と“くらし”に貢献する企業に投資したい
- 優れた技術と人財による変革を応援したい
- 長期で保有し、安定的な配当に期待したい

AsahiKASEI

Creating for Tomorrow

予想・見通しに関する注意事項、その他特記事項

当資料に記載されている予想・見通しは、種々の前提に基づくものであり、将来の計数数値、施策の実現を確約したり、保証するものではありません。

また、当資料に記載されている内容は、当社に関する最新情報を報道関係者、株主・投資家の皆さまへ提供することを目的としたものであり、プロモーションや広告、医学的なアドバイスを目的とするものではありません。